

朝の館内放送

令和7年2月3日

おはようございます、市長の中村健です。

1月24日から通常国会が始まり、石破総理が述べられた施政方針演説の内容を見ると、国づくりの基本軸として「楽しい日本」という考え方が示されています。

これだけ聞いてもピンとこないと思いますが、「楽しい日本」とは、『すべての人が安心と安全を感じ、自分の夢に挑戦し、「今日より明日はよくなる」と実感できる。多様な価値観を持つ一人一人が、互いに尊重し合い、自己実現を図っていける。』、そうした活力ある日本のことを言うのだそうです。

そして、この「楽しい日本」を実現するための政策の核心が「地方創生2.0」です。

施政方針の内容によれば、地方創生2.0とは、「官民が連携して地域の拠点をつくり、地域の持つ潜在力を最大限引き出し、ハードだけではないソフトの魅力が新たな人の流れを生み出す。新技術を徹底的に活用し、一極集中を是正し、多極分散型の多様な経済社会を構築していく」ことをいいます。

地方創生1.0との大きな違いは、当面は人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能せる適応策を講じていく点にあります。

人口の社会増や自然増を実現するために、無理をしてお金をばら撒くような風潮から脱する必要があると言ってもよいかもしれません。

しかし、それぞれの地域の特徴や強み・弱みをしっかり見極め、地域資源を磨き上げて独自の魅力を上げていく必要性については、地方創生1.0でも2.0でも変わらないはずです。

そのためには、現場に出て様々なものを見聞きするとともに、関係する市民や事業者と積極的に対話をする姿勢と、困難な課題や新しいことにも積極果敢な姿勢でチャレンジしていくことが欠かせません。

しっかり知恵を絞り、しっかり汗をかいて、西尾市としての地方創生を実現していきましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。